

幼児とボールで 楽しく遊ぶには

「ボールあそび」の目標

けがや事故なく、幼児がボールで楽しく遊ぶ機会を提供する。
ボールあそびの楽しさを知り「ボールで遊びたい」という幼児を増やす。



タッチ



最近の幼児の 特性とは

- 家、幼稚園・保育園などが狭いことも多く、広いところで遊ぶのに慣れていない幼児が多い。
- ゲームやテレビで画面を見る時間が長い
ため、興行きを判断する空間認知能力を
養っていない幼児が多い。
- 得意なスポーツ以外の動きを、苦手
にする幼児が多い。

幼児と楽しく 遊ぶには

- 笑顔で接する。
- 幼児と同じ目線で話しかける。
- 説明は短くまとめる。
- 伝えるポイントは、1つか2つにお
さえる。
- 大きな声で元気よく話しかける。
- 擬態語や擬音語を使って、わかりやす
く伝える。

幼児の心を つかむには

- 幼児に「すごい」と思わせるデモン
ストレーションや、まねをしたくなるお
手本を見せる。
- 取り組みや成功、上達のようなすを見つ
けたら、その場ですぐにほめる。
- むりやりさせない。
- ハイタッチで毎回終わらせ、幼児の達
成感を醸成する。

けがや事故なく 遊ぶには

- 危険な物は、遠ざけておく。
- 園庭の凹凸や水たまりは、ならしてお
く。
- 壊れた用具は使わない。
- 救急箱やAEDを確認しておく。
- 遊ぶときに守るルールを「お約束」と
して、幼児に事前に周知させる。

●文中の二次元バーコード

幼児とコーチ陣の活動時のよ
うすを撮影した動画を確認で
きます。活動前に視聴してお
きましょう。

動画も
チェック!



プランづくりに 迷ったら

2・3 ページで解説する、
2つのプランの手順で遊
ぶとよいでしょう。

次ページで使う用具とその数 (目安)



やわらかいボール
(幼児数×3 [個])



やわらかいバット
(幼児数÷5 [本])



マーク
(幼児数÷4 [個])



ティー台
(幼児数÷
5 [台])

部員が多くて園庭が広い場合は

幼児が自分で あそびを選ぶ プラン

とりたい 投げたい 打ちたい
したいボールあそびを3回、幼児が自分で選ぶプランです。

園にあいさつ、用具の搬入、会場の準備、安全確認、進行の事前確認。

部員が少ないか園庭が狭い場合は

投げる 打つの順に 遊ぶプラン

順番に遊ばしましょう
はい！
数グループに分かれ、投げる、打つの順に遊ぶプランです。

自分たちのウォーミングアップをかねた
デモンストレーション



カッコいいダッシュを見せる



カッコいいキャッチングを見せる



すごいバッティングを見せる

あいさつ・自己紹介 **2分**



準備運動

3分



ウォーミングアップ **10分**



3分 デモ ① 幼児はデモンストレーションを見て、したいあそびの場所に移動する。 ▶ 移動

とる さあ来い! 投げる とんとん 打つ 引いて

●デモのようす ●移動のようす

8分 あそび ② 8分遊んだら、次にしたいあそびの場所に移動する。 ▶ 移動

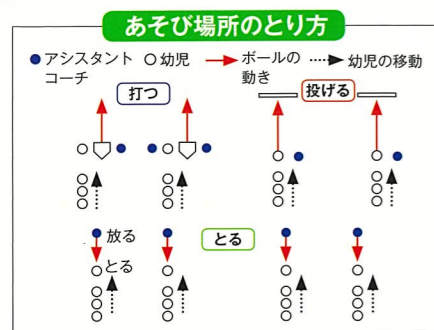
ゴロキャッチ とんくる体操 くるっと体操

トスカッチ くるっとスロー ティー台打ち

とる 投げる 打つ

休憩を3分とる。

8分 あそび ▶ 移動 ▶ **8分** あそび ③ ②の後に、したいあそびで2回遊ぶ。



飛んだボールが他の幼児に当たらないように配慮する。それぞれのスペースは広くとる。

2分 片づけ

2分 あいさつ

30分をめぐりに各コーチが「おしまいです」とみんなに伝え、「ボールを2こずつ拾い、コーチの足元のかごに入れてください」と幼児にうながす。

メインコーチが幼児を集め「今日のボールあそびは楽しかったですか?」と聞く。元気な声が返ってきたら、けがをした子がいないことを確認して「では、終わりにします。ありがとうございました」とあいさつして、水分補給とトイレをうながす。

用具の片づけと確認、園にあいさつ、撤収。

14分 デモ ▶ あそび ① 投げるデモンストレーションを見せ、体操、くるっとスローで遊ぶ。

投げる とんとん

とんくる体操 くるっとスロー

14分 デモ ▶ あそび ② 打つデモンストレーションを見せ、体操、ティー台打ちで遊ぶ。

打つ 引いて

くるっと体操 ティー台打ち

片づけ **2分**

あいさつ **2分**

用具とプランを工夫して遊ぶ

いっしょに遊ぶ幼児の数、年齢、あそび場所によって活動内容は大きく変わりますが、用具やプランを工夫して、幼児が楽しく遊べるように工夫しましょう。

用具の工夫

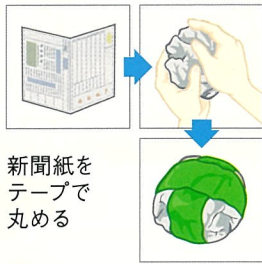
足りない用具は手づくり!

新聞紙や身の回りにあるもので、手づくりします。ボールやバットをカラフルなデザインにすると、幼児のテンションも上がります。事前に、幼児といっしょに作るのもよいでしょう。

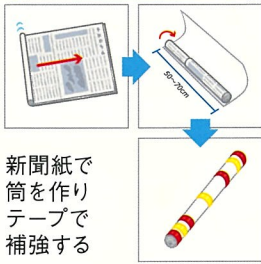
幼児がよろこぶこんな用具も

とりやすく当てやすいもの、当たっても痛くないもの、幼児が自分から使いたくなるような用具を使うと、幼児は自然とボールあそびを楽しめます。

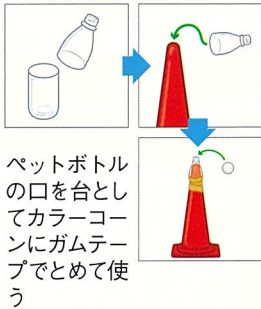
ボールの作り方



バットの作り方



ティー台の作り方



▲新聞紙をつめたビニール袋やお手玉も遊べる。



▲ペットボトルや手で打つのも楽しい。

より楽しく遊ぶには

仲良く遊ぶ工夫と、幼児をあきさせない工夫を

下のようちょっとした工夫で、幼児もあなたも、楽しくあきることなく遊べます。

①は、準備運動とウォーミングアップの代わりにとり入れてもよいでしょう。②は、幼児にもわかる呼び名を使います。③・④はやる気をキープしつつづけるために。⑤は、20~30分に1回を目安にします。

①鬼ごっこでアップ



②ニックネームを教える



③できることで遊ぶ



④ほめてハイタッチ



⑤休憩を忘れない



もっと遊びたいなら

順番やプランは本誌を参考に決めましょう



走りあそびをとりいれましょう

本塁と1塁間を往復したり、1塁、2塁、3塁、本塁へと順に走ったりして遊ぶ。



走るあそびは、ベースの回り方を覚えることから始まる。

点数をとりいれて遊びましょう

とる、投げる、打つそれぞれのあそびに点数をつけ、グループ単位で合計点を出す。



ゴロをとるミニゲーム



ボールを打つミニゲーム

グループでゲームを試みましょう

投げて、打って、走るのゲーム形式で遊ぶのも楽しい。1試合15分が目安。



ならびっこゲーム



キャッチ&ランゲーム

監修 前橋明(早稲田大学教授)
石井浩子(京都ノートルダム女子大学教授)
末永祐介(東京女子体育大学講師)